



「無題」という題



中学部主事 武石 博行

【決めつけない、押しつけない】

前任校の栗田支援学校の話で恐縮ですが、知的障害教育校としては秋田県初となる高等部職業学科「環境・福祉科（新年度からは「総合サービス科」と名称が変わります）」の開設と初期の運営を担当しました。環境・福祉科は卒業生全員が就職することを目標にしています。ある日、2年生を担当していた職員が、「この生徒は就職できない。環境・福祉科に合格させてはいけなかった生徒だ」と言いました。しかし、その生徒は実習を積み重ね就職し、今も勤務しています。

「就職できない」と決めつけられると、本当は就職できる力があるのに就職できなくなります。自分の価値観で決めつけない、自分の価値観を押しつけないことの大切さを、私たち教師は自覚する必要があります。

【今を大切に】

過去は振り返られますが、変えることはできません。オー・ヘンリーの短編集の中に、3本の分かれ道でどの道に行くかを選択し、選んだ道を行った後の出来事が書かれた一篇があります。選んだ道を行った結末になると、過去の3本の道を選ぶ場面に戻り、今度は別の道に行くという物語が展開されます。結果は…。「人生はそんなもんだよ」ということが示唆されています。

一方で、未来は思い描くことはできますが、すぐにはたどり着けません。今を精一杯頑張った延長線上に未来があるのです。進路も、未来にあります。

ということは、「今を大切にすることが大切」ということになります。「今」はみんなに共通して与えられています。生き生きしていても、眠気に襲われても、集中していても、ぼんやりしていても、楽しくても、悲しくても、充実した時間を過ごしていても、漠然と過ごしていても、「今」はみんなに共通して与えられています。その「今」を大切にしましょう。今、どんな経験を積み重ねたらよいかを考え、どんどん積み重ねましょう。その先に、進路もあります。

【失敗は成功のもと】

だれでも失敗はしたくないものですが、失敗してしまうのが人間です。取り返しのつかない失敗には十分注意しつつ、次につながる失敗＝「成功のもととなる失敗」は大事にしたいものです。同様に、できないことはだめなことではありません。できるのにやらないことの方がだめなことです。「あと少し頑張れば実現できる」ことにどんどんチャレンジし、できないことをできるように努力する過程を大いに褒めましょう。

*** 働く学習「後期校内実習」 ***

11月9日（月）から20日（金）までの10日間、4つの工房に分かれて、「ALL for ONE～力をあわせてがんばろう！～」を合い言葉に、校内実習を行いました。いつもの作業学習よりも、そして前期校内実習よりも長い時間、長い期間ということで、「自分の仕事を最後までやり遂げる」ことに対する不安な様子も見られました。しかし校内実習を通して、生徒は、自分の目標を達成する喜びや日に日に作業量が増えていく成長した自分を感じていました。そして最終日には、10日間やり切った達成感に満ちあふれた表情がたくさん見られました。また、PTAの販売でお客様に喜んでもらった経験をして、生徒の作業に対する意欲が高まってきました。

今後は、後期校内実習で得た反省と向き合うとともに、校内実習で得たモチベーションを大事にして、日々の学習に臨んでいってほしいと思います。



中学部保護者進路研修会

今年度はコロナウイルスの影響で日程や内容の変更等がありましたが、2回の研修会を実施することができました。

1回目の研修（9/28）では、卒業後の生活や地域の障害福祉サービス事業所について理解を深めることをねらいとして、新規事業所である【瀧上ひまわりの里】の見学に行ってきました。参加者からは「バリアフリーで全館明るく、清潔感がある。利用しやすそう。」「放課後デイサービスを利用しながら就労のイメージをつかめるのがいい。」「もっといろいろな施設見学に参加して、子どもに合った場所を考えていきたい。」などの感想がありました。



2回目の研修（12/2）では、前半…作業学習の見学、後半…進路指導主事の講話を行いました。作業学習の見学は、コロナ禍のため今年度初だったこともあり大変喜んでいただきました。講話では「卒業後の安心生活に向けて～今から始めておきたいことを中心に～」という内容から、「生活リズムや食事、余暇活動など、卒業後も大事になってくることを教えていただき参考になった。」「将来について、今後家庭の中で話をして、よりよい選択ができるように考えていきたい。」「進路研修を引き続き続けてもらいたい。」などの感想がありました。



次回は来年度になりますが、多くの方の参加をお待ちしております。ぜひ、将来のことを考えるきっかけにいただければと思います。